

カナダ・ブリティッシュコロンビア州の幼児教育概要

資料提供(訳):ビクトリア国際交流センター(VIEC)

レポート:ひの社会教育センター:中能孝則

はじめに

カナダの学校教育は多くの先進国と異なり、カナダにおける教育の責任は州政府ではなく州政府にあります。初等学校は6年から8年、中等教育は4年から5年、大学は3年から4年となります。

各州の教育制度は各州固有の地域性、歴史、文化を反映しています。また、小、中、高等学校の管理は、市域の教育委員会に託されています。

カナダの幼児教育（初等教育が始まる前の0歳から5歳まで）は義務教育ではありませんので、親やその他の Care Giver の任意で行われます。

1. カナダの幼児教育の種類

カナダ、BC州では主に次の2つの幼児教育システムに分けられています。

A. Licensed Child Care

(認証の子どもケア施設)

Licensed Child Care は公的機関、私的機関、親、NPO 団体、社会教育団体、教会、などによって運営されるもので、BC州の厚生省がさだめた条件を満たすことが義務付けられています。

(その条件)

- ・スタッフの適正（専門知識、応急処置能力、健康状態）
- ・スタッフと子どもの割合
- ・無犯罪証明
- ・プログラムアクティビティ（包括的かつバランスの取れたプログラムアクティビティ

- ・施設の広さと設備
- ・栄養摂取、スモッキング、しつけ、緊急時に対する対応

*無犯罪証明については12歳以上で施設に勤める者は必ず取らなくてははいけません。



B. Licence—Not—Required Child Care

(以下 LNR—無認可の子どもケア施設)

LNR Child Care はおもに自分の子どもや、1～2人の家族以外の子どもの世話をする場合のことをさします。LNR は特に幼児教育の勉強をしていなくてもいい場合がおおく、Caregiver（お世話をする人）は自分自身で規定を決めて雇い運営をします。(LNR 運営の条件、規定)

- ・無犯罪証明
- ・他の人からの推薦状
- ・Care センターの視察
- ・健康診断
- ・応急処置の訓練
- ・地域の子育て支援ワークショップへの参加
- ・地元の Child Care Resource and Referral（子育て支援に関する資料を持つ

機関) (CCRR)への登録などが最低限の基準としてあります。

2. それぞれの特徴 (区分、種類)

A. Licensed Child Care

(1) Group Child Care Centres (グループチャイルドケアセンター)

グループチャイルドケアセンターは生後30ヶ月から小学校1学年生まで。あるいは生後すぐから36ヶ月までを取り扱うものに分けられます。また、このセンターの保育時間は、午前07:00ないし08:00から午後05:30ないし06:00まで運営されているところが主です。

*最大規模のグループは

- ・受け入れ人数: 生後36ヶ月以上の場合: 25名まで。生後36ヶ月以下の場合: 12名まで

*子ども数に対するスタッフの割合

- ・生後30ヶ月以上の場合: 25名に対し有資格者1名、アシスタント2名
- ・生後36ヶ月以下の場合: 12名に対し有資格者1名、アシスタント2名

*スタッフの資格

- ・生後30ヶ月以上—Early Childhood Educator (以下ECE)
- ・生後36ヶ月以内—ECE+Infant Toddler Educator (ITE)
- ・応急処置の資格要

(2) Preschool (幼稚園)

Preschoolでは生後30ヶ月以上(最低でも12月31日に3歳になる)の子どもを対象に入学が認められます。年齢によってクラスを分けられているところもあれば、そうでないところもあり様々です。学期は9月から6月までが基本です。

*最大受け入れ人数: 20人

*子ども数に対するスタッフの割合

- ・子ども20人に対し、有資格者1名、アシスタント1名

*スタッフの資格: ECE (19歳以上)

*First Aid Certificate

(応急処置の資格要)

(3) Out-of-school Care Centres

(学童保育センター)

これは日本で言う学童保育と考えていいでしょう。学校時間外に生徒を預かる機関になります。

*最大受け入れ人数: 5歳~12歳の場合: 20人

*小学2年生からの場合: 25人

*子ども数に対するスタッフの割合

- ・5歳児10人に対し1名
- ・小学2年生以上15人に対し1名

*スタッフの適応性: 19歳以上で責任のある方

*First Aid Certificate

(応急処置の資格要)

(4) Child minding Centres

(臨時託児センター)

生後18ヶ月から小学校入学までを扱います。1日3時間以上、週2回以上は受け入れ不可です。

*最大受け入れ人数

- ・3歳以下—16人まで
- ・3歳以上—20人まで

*子ども数に対するスタッフの割合

- ・3歳以下の子ども4人にスタッフ1名
- ・3歳以上の子ども8人にスタッフ1名

*スタッフの資格: 19歳以上で責任のあるかた

*First Aid Certificate

(応急処置の資格要)

(5) Emergency Child Care Centres

(緊急時保育センター)

生後から小学生までの受け入れが可能です。短期、長期、パートタイムなど、柔軟な受け入れ体制が特徴です。特に家

族の緊急事態などに対応できるようになっています。ただ、月に72時間以上預けることはできません。

*最大受け入れ人数

- ・生後36ヶ月以上—25人まで
- ・生後36ヶ月以下—12人まで

*子ども数に対するスタッフの割合

- ・3歳以下の子ども4人にスタッフ1名
- ・3歳以上の子ども8人にスタッフ1名

*スタッフの資格

- ・生後36ヶ月以上—Early Childhood Educator (以下ECE)
- ・生後36ヶ月以下—ECE+Infant Toddler Educator (ITE)
- ・First Aid Certificate (応急処置の資格要)

(6) Occasional Child Care at Ski

Hill or Resort

(観光地にある Child Care Centre)

18ヶ月から6歳前までの子どもを、1日8時間以下、月40時間以下の条件で預けることができます。

*最大受け入れ人数

- ・生後36ヶ月以上—20人まで
- ・生後36ヶ月以下の場合2人ずつ人数に応じて減ります。

*子ども数に対するスタッフの割合

- ・スタッフ1名につき：子ども7～8人
- ・スタッフ2名につき：子ども8～16人
- ・スタッフ3名につき：子ども17～24人 (スタッフとは責任のとれる大人のことを言います)

B. Licence—Not—Required Child Care (無認可子どもケア施設)

(1) LNR Child Care

年齢に関係なく2名までの子どもが自宅で預かれます

(2) In-Own-Home Care

自分の家で、他の Caregiver に子どもの面倒を見てもらう形式をさします。

Babysitter (ベビーシッター)、Nanny (ナニー、うば) ともよばれます。

3. BC 州の教育制度

一番基本となるカナダでの教育方針、子育てに関する考え方として、

- 男女平等
- 子供に肉体的害を与えるようなしつけは行ってはいけない、
- 小さい子供、乳幼児を一人にさせてはいけない
- 12歳以下の子供が他の子供の面倒を見てはいけない、
- 子供に対する身体、精神的に被害を及ぼしている現場、証拠、傾向を見た場合は報告する義務がある

カナダ全体にいえることですが、教育、その他全ての規制について

Multiculturalism (多民族主義) の影響があります。そしてカナダでは移民制度を大きく取り入れています。教育はバイリンガル教育システム、早いところで5歳から2ヶ国語の教育が始まります。幼児教育、受け入れ先でも Ethnic Minority (全人口に対して少規模の民族) の子ども人口が増えています。そのため幼稚園のアクティビティーには年間の行事を含め様々な文化を尊重するものが必ず含まれています。

例) 1月 New Year (正月)、2月 Chinese New Year (中国の旧正月)、3月日本のひな祭り、など。

特にクリスマスも宗教によって様々なので、サンタクロース、クリスマスツリーなどを大きく取り扱わないこともあります。12月になると“Merry Christmas”ではなく“Seasonal Greetings”といった形で、カードを作らせたりすることもあります。

★障害児教育についても積極的です（BC州の教育ポリシーとその背景）

州政府より障害児教育にかかる費用は国でカバーされます。特に自閉症児に関しては約月 \$ 600 まで国、州よりカバーされます。診断するのに難しい事は変わりませんが、この保障が始まって以来自閉症と診断されやすい傾向にあります。

いまカナダの教育現場では Integration Model（融和モデル）というポリシーが推奨されている為、障害児だからといって特別学級には入りません（親にもよりますが）。通常クラスに入り、Supported Child Care という資格をもったアシスタントが障害児に付き添い、クラスに入っています。健常児の子どもにも障害児の特性を学びとったり理解を深め、差別のない社会にしようという取り組みが見られます。

個人の能力を十分に引き伸ばせるよう、Team Support（チームサポート）、心理学者、医師、作業療法士、理学療法士、栄養士、教員、両親、が一丸となって子どもの成長をサポートしていく体制が BC 州にはあります。

日本に比べても障害者を頻繁に見かけますし、障害者自信も 1 人で行動することが多いように見えます。気軽に社会に彼らが出ていられるのはこのお陰とっていいでしょう。

★教育者の養成について

BC 州の幼児教育現場において主に 2 つの資格（どちらか）を持っているスタッフがいます。

*Early Childhood Educator（日本で言う幼稚園教員）

—Camosun College Early Childhood Program（カモソンカレッジ、児童教育課程）を修了

期間：2 年制 —実習を含むトレーニング

資格：Early Childhood Education Certificate（幼稚園・保育園教員資格）

—University of Victoria（ビクトリア大学）—Department of Education（教育学部）を修了

期間：4 年制—実習を含むトレーニング

資格：Child and Youth Care worker（社会福祉士 & 青少年児童福祉士）

—University of Victoria（ビクトリア大学）—Department of Human and Social Development を修了

期間：4 年制—実習を含むトレーニング

相違点：

ECE Worker（幼稚園・保育園教員）

資格取得

教育基本

日本で言う幼稚園教員

教育学部に付属する

乳幼児、小学校入学までを対象

CYC Worker（青少年児童福祉士）

福祉系

0 歳児から 18 歳まで対象

カウンセリングのトレーニングを含む

社会福祉士として考えてよい

障害児のサポート役として働くことがある

